

【電子くじ】について

1 電子入札対象案件において、落札予定者となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、「電子くじ」により落札予定者及びその次の順位以降の落札予定者を決定します。

2 「電子くじ」の手順

- (1) 入札参加者は、入札時に「くじ番号（3ケタ）」を入力します。この番号は入力者による任意の番号です。
- (2) 入札した時間「〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分〇〇. 〇〇〇秒」のうち、「秒の小数点以下の3ケタの数字」を使用します。
- (3) 上記「くじ番号（3ケタ）」と「秒の小数点以下（3ケタ）の数字」の和を「予備番号（3ケタ）」とします。和が4ケタになる場合は、下3ケタを使用します。
- (4) 電子くじ対象者を入札書提出順に「入札順」を0から割り振ります。
- (5) 電子くじ対象者の「予備番号」の和を求め、その対象者数で除した「余り」を「決定くじ番号」とします。
- (6) 「決定くじ番号」と「入札順」が一致した入札者が落札予定者となります。

3 電子くじの対象者が3社の場合の例

(1) 1番目の落札予定者

電子くじ対象者	A社	B社	C社
①くじ番号	135	246	753
②入札時間	10時15分20秒369	11時20分30秒482	13時25分35秒675
③秒の小数点以下3ケタ	369	482	675
④予備番号（①+③）	504	728	428
⑤入札順	0	1	2
⑥予備番号の和	$504 + 728 + 428 = 1,660$		
⑦決定くじ番号	$1,660 \div 3 = 553 \text{ 余り } 1$		
⑧落札予定者	B社		

(2) 2番目の落札予定者

1番目の落札予定者の「B社」を除いた「A社」と「C社」において、入札順はA社が0、C社が1となる。予備番号の和は、

$$504 + 428 = 932$$

となり、対象者数2で除した余りは

$$932 \div 2 = 466 \text{ 余り } 0$$

となり、「A社」が2番目の落札予定者となります。

したがって、「C社」が3番目の落札予定者となります。